

# 国内類似施設調査報告

# 国立公文書館の機能・施設の在り方等に関する調査(国内類似施設調査)

日程	視察先／視察の観点	調査参加委員
11/26～ 11/27	・ 四日市公害と環境未来館 【展示・学習機能への工夫】	—
	・ 三重県総合博物館 【複合施設としての管理運営】	
	・ 桑名市立中央図書館 【PFI事業による管理運営】	
12/17～ 12/18	・ 海上自衛隊呉史料館 てつのかじら館 【PFI事業による管理運営】	—
	・ 九州国立博物館 【国立施設による管理運営、展示への工夫】	井上 由里子 委員
12/22	・ 国立科学博物館 【国立施設による管理運営、 データベースの充実による工夫】	井上 由里子 委員 斎藤 勝利 委員 松岡 資明 委員 尾崎 護 オブザーバー
12/24	・ 東京文化財研究所 【保存・修復機能への工夫】	松岡 資明 委員

## ● 保存施設

- ・ 来館者動線と管理者動線、資料の搬入動線が錯綜しないように収蔵庫などの保存施設を設置
- ・ 「公開承認施設」(※) 制度に基づき、収蔵庫の温湿度管理、IPM(総合的有害生物管理) 対策などの方策を確立(九州国立博物館等)

### ※公開承認施設

博物館や美術館などの国宝・重要文化財の所有者(管理団体を含む) 以外の者が、当該文化財を公開しようとする場合に、文化財の公開活用の観点から、文化財の公開に適した施設として、あらかじめ文化庁長官の承認を受けた施設。

## 【事例】

### ○九州国立博物館



- ・ 収蔵庫内は一般来館者立入禁止のため、見学用の窓を設置



- ・ 建物全体の免震性能を高めることで資料の安全性を確保

## ● 調査・研究活動

- ・ 博物館とは別に、保存・修復に関わる調査・研究センター機能が独立(東京文化財研究所)
- ・ 人事異動を通して、研究者が各国立博物館でも調査・研究を実施(同上)
- ・ 調査・研究の成果は全国の博物館・美術館に向けた指導や助言としても還元(同上)

## 【事例】

### ○東京文化財研究所 保存修復科学センター



- ・ 展示ケース内の素材から発生する有害ガスの調査・研究を行う実験装置

## ● 修復施設

- ・ 国立博物館においては、十分な規模の修復施設を有し、最新の設備（CTスキャナーなど）を整備（九州国立博物館）

### 【事例】

#### ○九州国立博物館



- ・ 書籍や古文書の修理や補修紙漉き、染色等多様な資料の修復のために複数の居室を設置

## ● 保存・修復のための体制

- ・ 職員は保存・修復の調査・研究に特化し、実際の作業は選定保存技術保存団体（※）に委託（九州国立博物館、東京文化財研究所）
- ・ 研究員が大学で講座を持ち、大学院生のインターンシップを積極的に受け入れるなど、保存修復を担う人材の育成に寄与

※ 「文化財の保存のために欠くことのできない伝統的な技術または技能で保存の措置を講ずる必要があるものを、文部大臣は選定保存技術として選定し、その保持者及び保存団体を認定している。」（文化庁HPより）

### 【事例】

#### ○九州国立博物館



- ・ 研究者と修復の委託を受けた選定保存技術保存団体の担当者が方針を協議し、修復を計画的に実施

# 展示・学習①

## ● 展示手法

- ・ 時間軸、テーマ軸などストーリー性のある展示を実施（各館）
- ・ 映像の特性を活かした展示を活用（国立科学博物館ほか）
- ・ 映像によるオーラルヒストリーを展示に活用（四日市公害と環境未来館）
- ・ 公文書を映像やグラフィックの素材として活用（四日市公害と環境未来館）
- ・ 教職員経験者が、子どもが楽しみながら学ぶ体験型展示を企画（九州国立博物館）
- ・ 子どもにもわかりやすい解説や、詳細な解説を紹介する引き出し型解説を実施（四日市公害と環境未来館）



### ○国立科学博物館

- ・ 資料の内容・情報を映像として編集し、当時の様子を再現したテーマ展示



### ○四日市公害と環境未来館

- ・ オーラルヒストリーを紹介する情報検索



### ○九州国立博物館

- ・ 無料ゾーンに来館者が能動的にかかわる体験型展示を設置
- ・ 自由に使える学習キット（無償）を複数配置



- ・ 小学校低学年を対象とした絵本型解説、詳細を解説する引き出し型解説

- ・ 公文書を活用した壁面グラフィック

## 展示・学習②

### ● ワークショップ等学習プログラム

- ・ 展示をより興味を持って観覧できるように、観覧前に学習プログラムを提供（国立科学博物館）
- ・ 展示テーマに即したワークショップ（テーマにより有償）や語り部（公害当時を経験した人）による講話を開催（四日市公害と環境未来館）
- ・ 乳幼児と親が本に楽しむ機会や、「読み聞かせ会」の開催で、幼少期から読書に触れる機会を提供（桑名市立中央図書館）

### 【事例】

#### ○国立科学博物館



観覧前の学習プログラムでは、普段触ることのできない標本などを触る体験を提供

### ● アウトリーチ活動等

- ・ 体験型展示物を持参するなど出前授業を実施（九州国立博物館、四日市公害と環境未来館）

### 【事例】

#### ○九州国立博物館

貸し出し用ツールを全国の学校を対象に提供



貸し出し用ツール「きゅうぱく」（画像は九博HPより）

#### ○四日市公害と環境未来館



「エコ工作」の出前授業  
※画像は四日市公害と環境未来館HPより

# 展示・学習③(デジタルデータベースの活用)

## ● データベースを展示に活用

- ・ 収蔵品のデータベースなどを元に、展示テーマに合わせた情報検索機器を各所に配置（三重県総合博物館）

### ○ 三重県総合博物館

- ・ 無料ゾーン、有料ゾーン（常設展示室）に情報検索機器を配置



配置された情報検索機器  
(収蔵品検索)



国土地理院のデータベース画像を利用し、各地域の時代的変遷を見ることができる展示



収蔵写真を閲覧できる検索機器  
タッチすることで画像が拡大

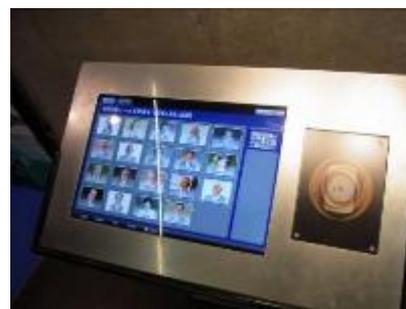


## ● データベースを展示内容についての理解促進に活用

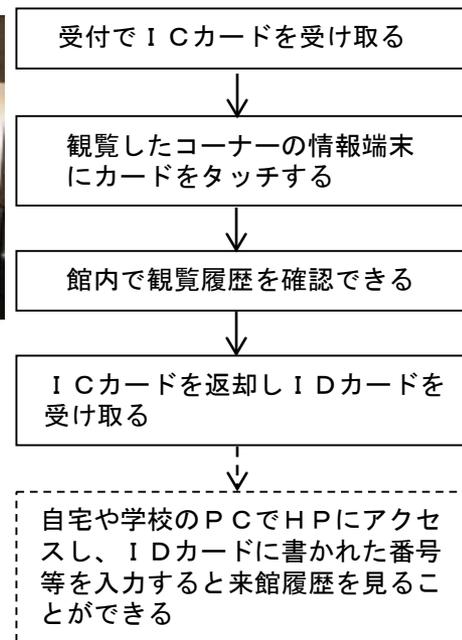
- ・ 収蔵品のデータベースを元に、来館者が観覧履歴をICカードに記録し、後日観覧した展示の内容について復習できるサービスを提供（国立科学博物館）

### ○ 国立科学博物館

< ICカードの利用概要 >



常設展示室に配置された情報端末。右手の黒い部分にカードをタッチすると観覧履歴がカードに記録される。



# 利用促進策・来館者サービス

## ● 利用促進策

### 【事例】

- ・ 友の会を設置し、会員に特典を提供  
（国立科学博物館、九州国立博物館）
- ・ リピーターの施設利用の便宜を図るため、年間パスポートを販売  
（三重県総合博物館、九州国立博物館）
- ・ 市内のスタンプラリー終着点として景品を配布（海上自衛隊呉史料館）
- ・ 無料ゾーンでコンサートなどのイベントを開催、ホールをさまざまな用途のイベントに貸出（九州国立博物館）
- ・ 開館前から県民参加型のイベントを開催し、施設をPR（三重県総合博物館）



### ○ 三重県総合博物館

- ・ 開館前のイベントで、地元の子どもたちが作成したマイワシのレプリカを常設展示室に展示

## ● 来館者サービス

### 【事例】

- ・ バリアフリー施設や設備、ユニバーサルデザインを導入（九州国立博物館）
- ・ 開館時間を9時～21時とし、夜間の利用者の利便性を向上（桑名市立中央図書館）
- ・ ミュージアムショップを設置し、オリジナル商品を販売（国立科学博物館、九州国立博物館、海上自衛隊呉史料館）
- ・ 付帯施設として飲食施設を設置  
（国立科学博物館、九州国立博物館）

### ○ 九州国立博物館

- ・ オストメイト対応型多目的トイレ、授乳室、救護室、ほじょ犬（盲導犬、介助犬、聴導犬）専用トイレを設置



左 多目的トイレ  
右 救護室



左 授乳室  
右 ほじょ犬  
専用トイレ

※画像は九博HPより

# 運営形態・方法

## ● P F I 方式による運営

- ・ P F I 方式の導入で、財政的効果（約22%の経費削減）、財政支出の平準化、長期に亘る安定（人員・人材確保、図書購入費の確保など）、市民サービスと集客力の向上、民間ノウハウの導入を実現（桑名市立中央図書館）
- ・ 機器や施設のトラブルに迅速に対応可能（桑名市立中央図書館、海上自衛隊呉史料館）
- ・ 契約期間中に起こりうるリスクや新事業を全て契約書に盛り込めなかったため、新規事業は市が運営（桑名市立中央図書館）



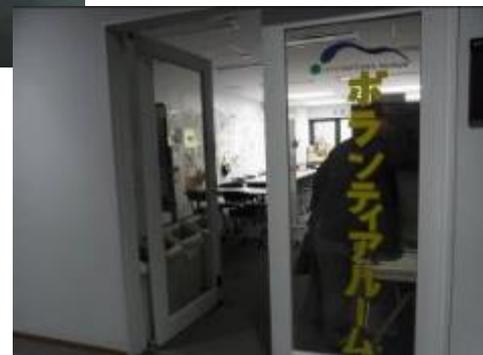
## ○桑名市立中央図書館

- ・ 親が乳幼児に絵本を読み聞かせることを目的に設置された「ゆめはま文庫」は、開館後にスタートした事業のため市が運営

## ● ボランティアの活用

- ・ 展示解説、教育普及、館内案内、I P M（総合的有害生物管理）活動、イベント企画・運営、資料整理などにボランティアを活用（九州国立博物館）

## ○九州国立博物館



- ・ ボランティアカウンター、ボランティアルーム（会議、休憩用）を設置

# 外部との連携(事例)

## ● 学校団体との連携

- ・ 大学向けの提携制度を設け、施設利用の便宜を図り、講座を提供  
(国立科学博物館)
- ・ 大学と施設の活用に関する連携協定を結び、企画展示資料の提供、講師の派遣、学生ボランティアの派遣等への協力を獲得 (四日市公害と環境未来館)

## ● 企業・民間団体との連携

- ・ 企業とのパートナーシップ制度を設け、各種特典 (HPへのバナー広告の掲載、館内での企業名の掲示、館長懇談会への招待、入館料割引、コーポレーションデーでの企業PRなど) を提供 (三重県総合博物館)
- ・ 民間NPOやボランティア団体から自主事業を公募し、選考ののち委託  
(四日市公害と環境未来館)

## ● 海外関連施設・機関との連携

- ・ 調査研究、修復事業、人材育成などを通じて、アジアを中心に各国の文化財保護を推進 (東京文化財研究所)
- ・ 海外の文化遺産保護に関する国内における連携及び協力の推進を図るため、政府機関、大学・研究機関、民間助成団体などによって構成される文化遺産国際協力コンソーシアムの事務局として機能  
(東京文化財研究所)
- ・ 生物多様性に関する国際プロジェクトの日本拠点として、国内の自然史標本情報を世界に発信 (国立科学博物館)

## ● 関連施設・関連機関との連携

- ・ 大学の資料や各地の科学館の資料の散逸を防ぐためにセーフティーネット構築の取り組みを実施 (国立科学博物館)